

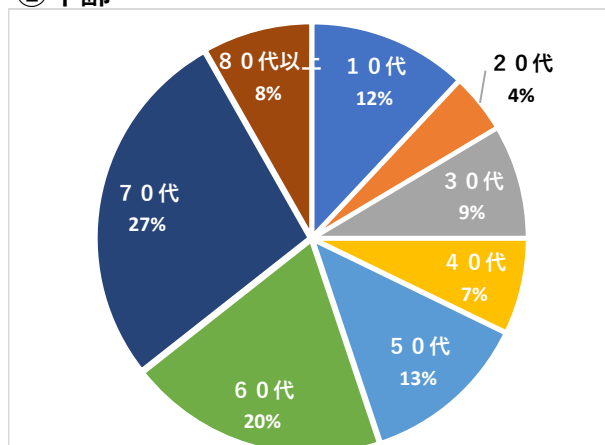
令和5年度 三原市立図書館 利用者アンケート（概要版）

令和5年度アンケート 実施事項

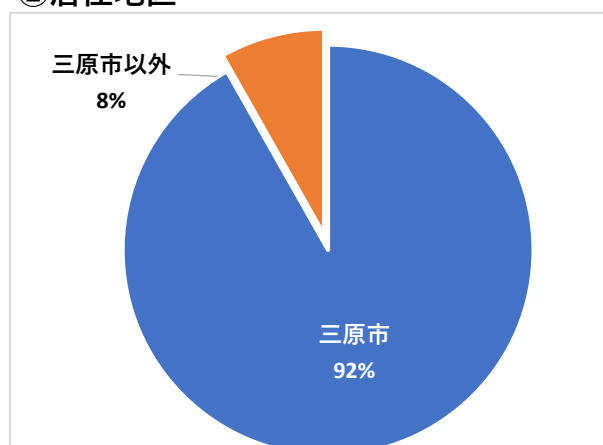
- ・実施期間 令和6年1月15日(月)～令和6年2月12日(月)
- ・実施施設 中央図書館 本郷図書館 久井図書館 大和図書館
- ・アンケート方式 無記名方式
アンケート用紙またはWEBアンケートへの回答
※無回答の項目は、集計数から除外
- ・全館回収数：296通（アンケート用紙 270通 WEBアンケート 26通）

【利用者について】

①年齢



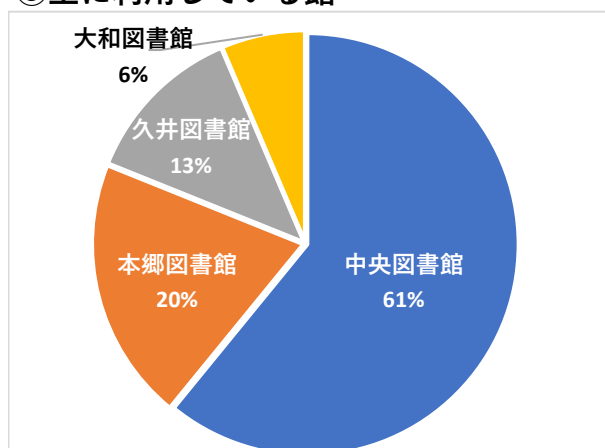
②居住地区



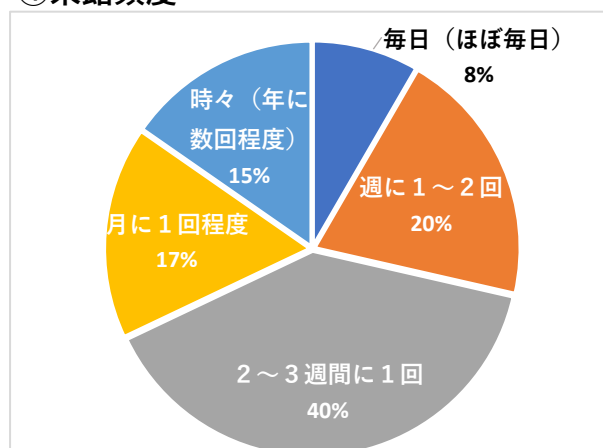
【図書館利用について】

③主に利用している館

※複数回答あり



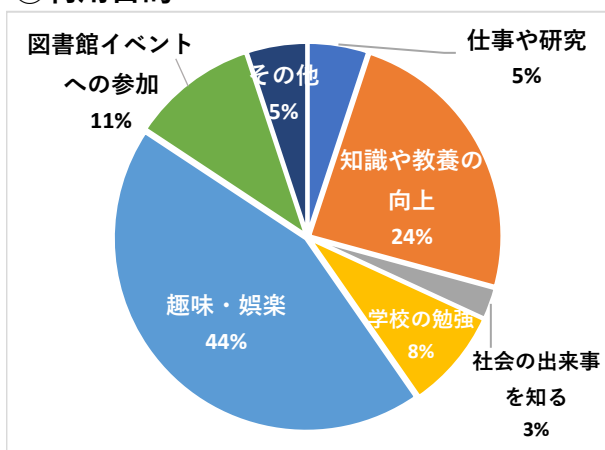
④来館頻度



【図書館利用について】

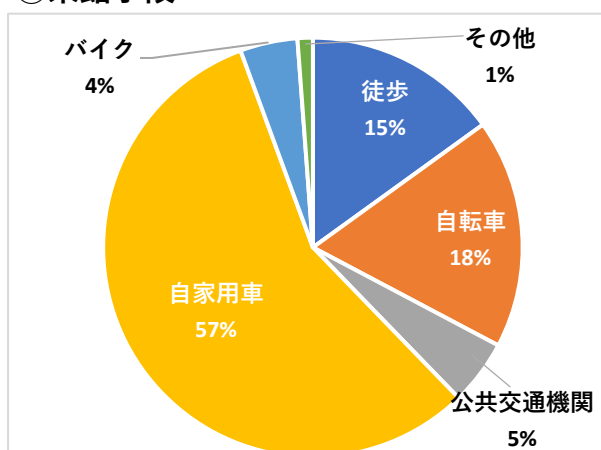
⑤利用目的

※複数回答あり



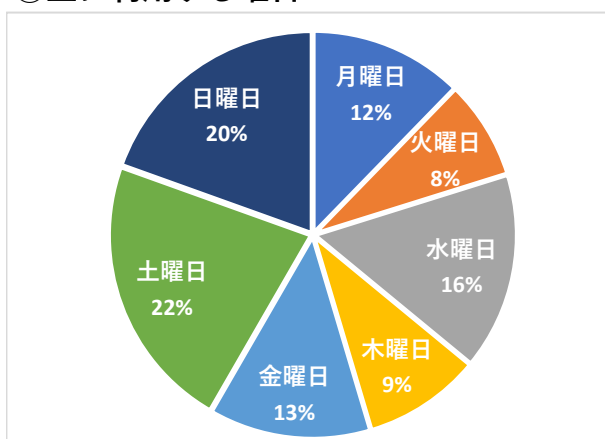
⑥来館手段

※複数回答あり



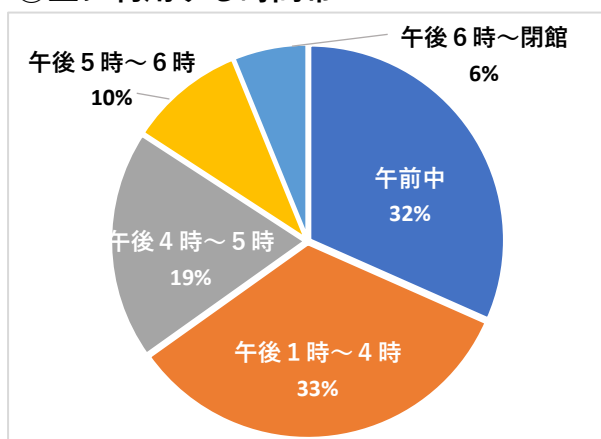
⑦主に利用する曜日

※複数回答あり

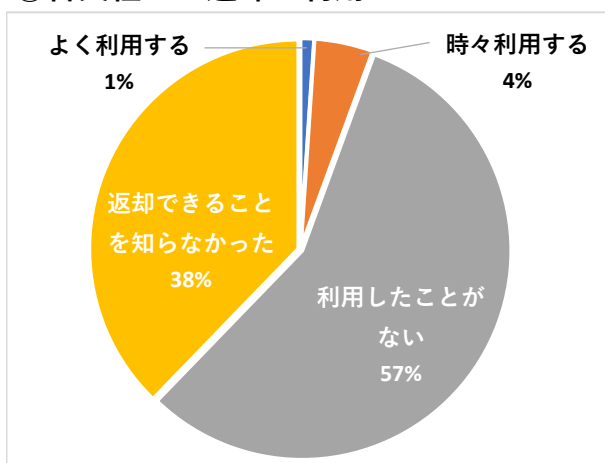


⑧主に利用する時間帯

※複数回答あり

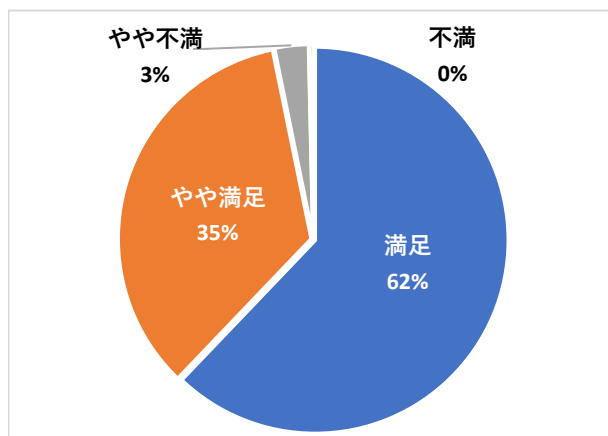


⑨啓文社への返却の利用

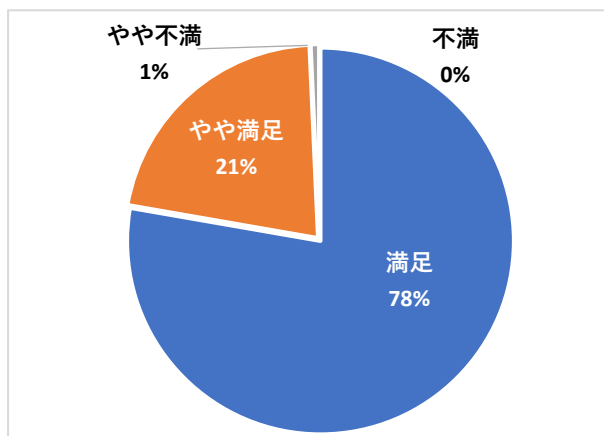


【三原市立図書館の満足度について】

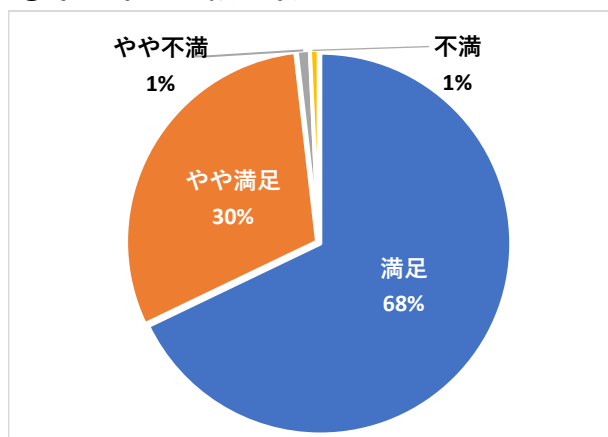
⑩ 図書館の設備・案内表示



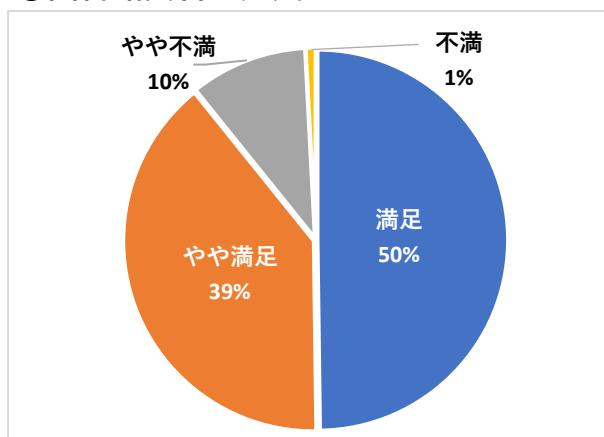
⑪ 職員の対応



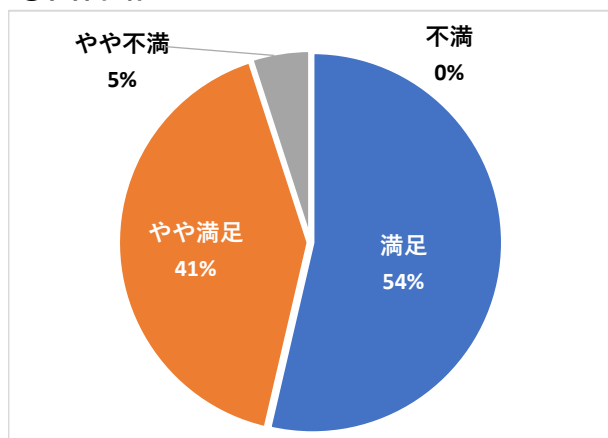
⑫ 本の案内・調べ物について



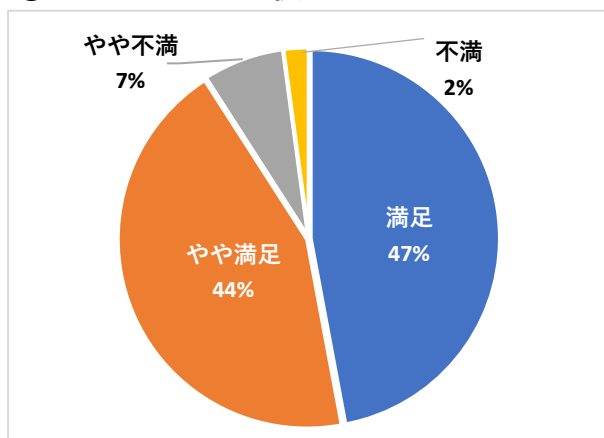
⑬ 図書館資料の充実



⑭ 図書館でのイベント

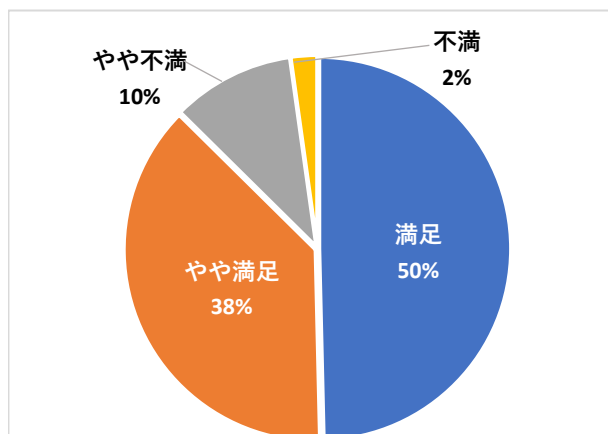


⑮ ホームページの使いやすさ

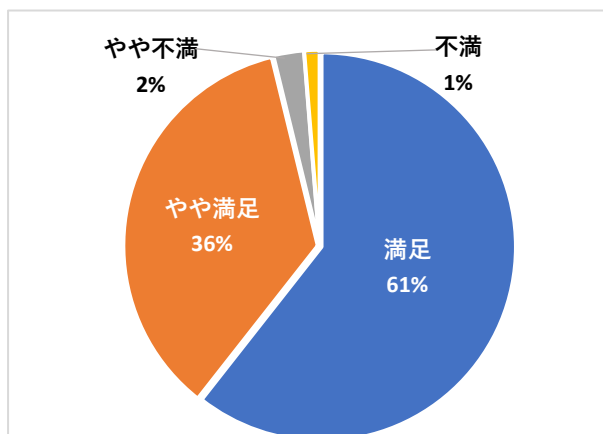


【三原市立図書館の満足度について】

⑯電子図書館について

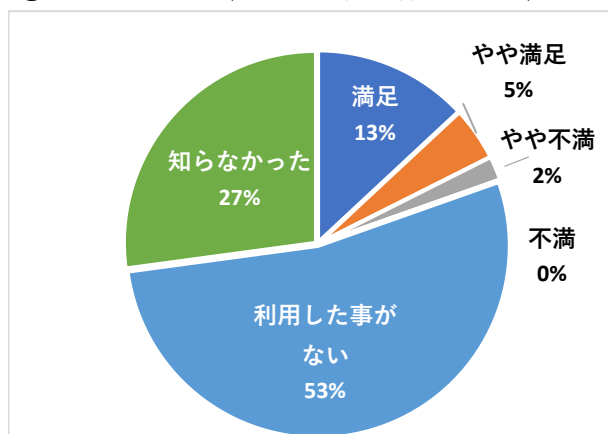


⑰全体的にみた図書館の満足度

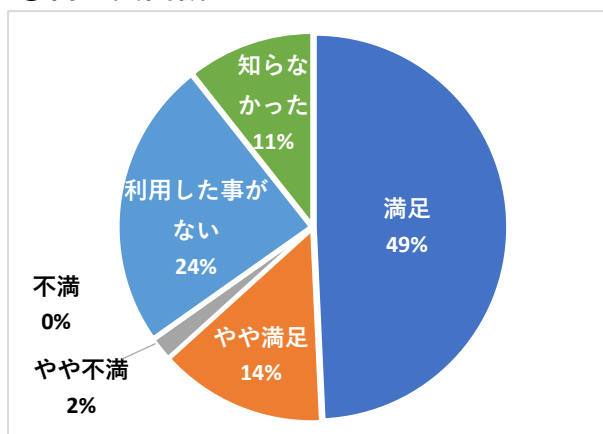


【中央図書館のサービスについて】

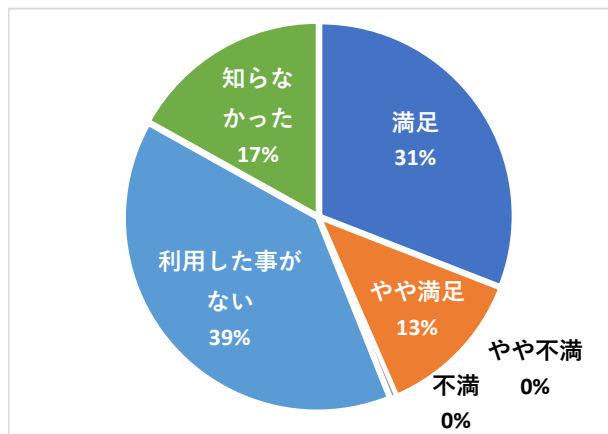
⑱フライヤー（ビジネス書要約サービス）



⑲自動貸出機



⑳予約棚（セルフ貸出）



●令和5年度アンケート 報告

●アンケート分析

前年度（R4年度）から取り組んだ課題	
利用率の定着	R4年度は「利用率の定着」を今後に取り組むべき課題としていた。 中央図書館の入館数が（R4年度）330,216人（R5年度）384,946人と前年度比16.5%増加している事から、図書館イベント等を介して様々な人が図書館を利用するようになったと考える。 今回のアンケートでは、R4年度に比べ来館頻度の項目において、「月に1回」の回答割合が5%増加、「年に数回」の回答割合が3%増加しているが、このことが利用率の低下に直接結びついているとは考えにくい。 むしろ利用率定着の取り組みは、来館者数が増加している事などから、一定の成果があったととらえ、これがひいては駅前の賑わいづくりにつながっていると考える。

今後取り組むべき課題	
図書貸出利用の促進	以下にR4年度とR5年度の図書館・電子図書館の利用数値を記載する。 「図書館」 貸出人数*1（R4年度） 138,872人 （R5年度） 139,760人（+888） 貸出冊数*2（R4年度） 501,253冊 （R5年度） 494,758冊（▲6,495） 「電子図書館」 ログイン回数*1（R4年度） 6160回 （R5年度） 12,106回（+5,946） 貸出回数*2（R4年度） 5548回 （R5年度） 15,714回（+10,116） *1（貸出人数）合算（R4年度） 145,032（R5年度） 151,866（+6,834） *2（貸出冊数）合算（R4年度） 506,801（R5年度） 510,472（+3,671） 前年度に比べて図書館利用では、貸出人数が増加した。電子図書館利用では、ログイン回数・貸出回数が共に大きく増加した。貸出冊数についても、図書館の貸出冊数を単体で見ると数値は低下しているが、図書館と電子図書館を合算した数値では増加した。今後も紙媒体の資料とデジタル資料のバランスを保ちながら、図書貸出の利用促進を図っていきたい。 利用促進の一方策として、イベント等に参加する利用者に対して、参加だけにとどまらず図書貸出を促す環境を整える事が、一定の成果に繋がると考える。そのためにイベントの際には、職員が展示や紹介の方法を創意工夫して関連した資料と利用者を結びつけられるよう取り組む事が必要だと考える。